

# 薬と食べもの



気をつけたい

# 飲み合わせ

宣言  
 明るい笑顔  
 すぐ返事  
 伝える元気

かちどき薬品 ホームページ  
 げんき君 健康に関する情報がいっぱい  
<http://www.genki1616.co.jp>

かちどき薬品グループ

Seedling 2013 2月号

## 薬と食べものを一緒に摂る時の注意

### 薬の「相互作用」とは

一度に数種類の薬を服用した場合や、同時に摂る食事や飲みもの  
 の影響によって、その薬だけ単独で飲んだ場合と比較して、効果  
 が弱まったり逆に強くなったりすることがあります。  
 これを「相互作用」と呼びます。一緒に服用する薬の組み合わせ  
 は無数にあるため、未知の相互作用が多いのが現状です。  
 この冊子で取り上げたものは、注意すべき飲み合わせの代表的  
 な事例です。この他にも細かな相互作用があるため、飲んでいる  
 薬がある場合は医師や薬剤師に相談しましょう。

※相互作用の現れ方には個人差があり、摂取する量などでも  
 変わります。必ずしも影響があるわけではありません。

薬とサプリメントを同時に服用する場合は特に注意が必要です。  
 飲む前に必ず医師・薬剤師に相談しましょう。

参考) <http://www.sap-cc.org/eiyou/kusuri%20to.htm>  
<http://www.okiyaku.or.jp/datafile/supl.html>  
 公益社団法人 アルコール健康医学協会



たとえば…


	成分名	製品名	
コーヒー 紅茶 緑茶	シメチジン (H2ブロッカー)	タガメット チーカプト	肝臓でのカフェインの代謝を抑制 するためカフェインの作用が増強し 嘔吐・胃腸障害などが起こります
	ロラゼパム (精神安定剤)	ワイバックス ユーパン	カフェインの作用が強まるため 嘔吐、胃腸障害など 薬効が弱まる

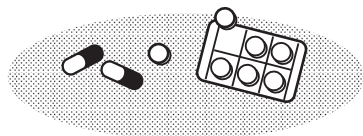
一緒に飲むと

薬の『鎮静作用』『精神運動抑制作用』と  
 カフェインの『覚醒作用』『興奮作用』  
 とが拮抗するため効き目が低下します

相互作用の現れ方には個人差があり、摂取する量などでも変わります。  
必ずしも影響があるわけではありません。


## 野菜

	成分名	製品名	
アボカド	ワルファリンカリウム (血液抗凝固剤)	ワーファリン ワルファリンカリウム「HD」	薬の吸収を妨げるため 薬効が弱まる
そら豆	イソニアジド (結核治療剤)	イスコチン ヒドラ	そら豆に昇圧物質 が含まれているため 頭痛、高血圧症状
セロリパセリ にんじん	メトキサレン (尋常性白斑 の治療剤)	オクソラレン	光毒性が強まる ▶ 光線過敏症
たまねぎ	ワルファリンカリウム (血液抗凝固剤)	ワーファリン ワルファリンカリウム「HD」	薬の作用が強まる ▶ 出血しやすくなる
にんにく 	ワルファリンカリウム (血液抗凝固剤)	ワーファリン ワルファリンカリウム「HD」	薬の作用が強まる ▶ 出血しやすくなる
	アスピリン (血液抗凝固剤)	バイアスピリン ゼンアスピリン	▶ 出血しやすくなる
	チクロピジン (血液抗凝固剤)	パナルジン パラクロジン パチュナ	▶ 出血しやすくなる
	サキナビル (抗HIVウイルス剤)	インビラーゼ	薬効が弱まる
緑黄色野菜 納豆	ワルファリンカリウム (血液抗凝固剤)	ワーファリン ワルファリンカリウム「HD」	緑黄色野菜や納豆に含まれる ビタミンKによって 薬効が弱まる



相互作用の現れ方には個人差があり、摂取する量などでも変わります。  
必ずしも影響があるわけではありません。

## 果物

	成分名	製品名	
グレープ フルーツ スイーティー ぶんとん 	ニフェジピン (高血圧症・ 狭心症の治療薬)	アダラート コリネール トーワラート	薬の作用が強まり 副作用が現れる ▶ 顔のほてり、頭痛、 どうき、めまい
	フェロジピン (降圧剤)	スプレンジール ムノバル	▶ 顔のほてり、頭痛、 どうき、めまい
	シロスタゾール (抗血小板剤)	プレタール シロスタゾール	▶ 歯ぐきの出血、鼻血、 皮下出血、血尿
	シクロスポリン (免疫抑制剤)	サンティミュン ネオール	▶ 腎障害など
	サキナビル (抗HIVウイルス剤)	インビラーゼ	▶ 吐き気、嘔吐、 下痢、腹痛、頭痛
	トリアゾラム (催眠鎮静剤)	ハルシオン ミンザイン	▶ 倦怠感、脱力感、 頭痛
パイナップル バナナ	イソニアジド (結核治療剤)	イスコチン ヒドラ	薬の作用が強まる ▶ 頭痛、高血圧症状

## 飲料

	成分名	製品名	
果汁100%の ジュース	キニジン硫酸塩水和物 (不整脈の治療薬)	硫酸キニジン	薬の血中濃度上昇 ▶ 心悸亢進、耳鳴り、 視覚障害


尿がアルカリ化し非解離型のキニジンが増えると  
排泄が阻害され、尿管から再吸収されるため

【心悸亢進】とは  
…心臓の拍動が  
異常に強く  
速くなる症状

相互作用の現れ方には個人差があり、摂取する量などでも変わります。  
必ずしも影響があるわけではありません。

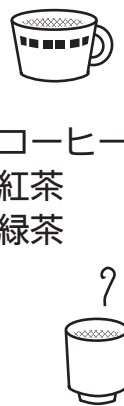
【抗生物質】とは  
…感染症  
(細菌によるもの)  
の治療薬

## ✖ 飲料

	成分名	製品名	
牛乳 乳製品 	テトラサイクリン 塩酸塩 (抗生物質)	アクロマイシン アクロマイシンV	薬効が弱まる
	ドキシサイクリン 塩酸塩水和物 (抗生物質)	ビブラマイシン	薬効が弱まる
	エリスロマイシン (抗生物質)	エリスロシン エリスロマイシン「サワイ」	薬効が弱まる
	アモキシシリン 水和物 (抗生物質)	サワシリン パセトシン アモリン	薬効が弱まる
	ミノサイクリン塩酸塩 (抗生物質)	ミノマイシン ミノペン	薬効が弱まる
	エチドロン酸二 ナトリウム (骨粗しょう症の薬)	ダイドロネル	薬効が弱まる
	クエン酸第一鉄 ナトリウム (鉄欠乏性貧血の薬)	フェロミア フェロチーム	カルシウムが鉄分の吸収を妨げるため 薬効が弱まる
	エトレチナート (皮膚病治療薬)	チガソン	薬の作用が強まり 副作用が現れる ▶ かゆみ、紅斑、 刺激感
	水酸化アルミニウムゲル 水酸化マグネシウム (制酸剤)	マーロックス マグテクト マルファ	吐き気や食欲不振

相互作用の現れ方には個人差があり、摂取する量などでも変わります。  
必ずしも影響があるわけではありません。

## ✖ 飲料

	成分名	製品名	
コーヒー 紅茶 緑茶 	ワルファリンカリウム (血液抗凝固剤)	ワーファリン ワルファリンカリウム「HD」	薬効が弱まる
	テオフィリン (気管支拡張剤)	テオドール テオロング	イライラ、不眠など
	シメチジン (H2ブロッカー)	タガメット チーカプト	カフェインの作用が強まるため 嘔吐、胃腸障害など
	ロラゼパム (精神安定剤)	ワイパックス ユーパン	薬効が弱まる
	ジアゼパム (精神安定剤)	セルシン ホリゾン	薬効が弱まる
	フルフェナジン マレイン酸塩 (精神安定剤)	フルメジン	薬効が弱まる
	クロルプロマジン塩酸塩 (精神安定剤)	ウインタミン コントミン	薬効が弱まる
	ジスルフィラム (慢性アルコール中毒治療剤)	ノックビン	カフェインの排出が阻害 されるため 神経興奮作用が 強まる
	フマル酸第一鉄 (貧血治療薬)	フェルム	鉄分とタンニンが結合すると薬の吸収が弱まり 薬効が弱まる
	硫酸鉄水和物 (貧血治療薬)	フェロ・グラテュメット テックール	薬効が弱まる

相互作用の現れ方には個人差があり、摂取する量などでも変わります。  
必ずしも影響があるわけではありません。

## ✖ 飲料

	成分名	製品名	
青汁	ワルファリンカリウム (血液抗凝固剤)	ワーファリン ワルファリンカリウム「HD」	青汁に豊富に含まれる ビタミンKによって 薬効が弱まる
ヨーグルト	イソニアジド (結核治療剤)	イスコチン ヒドラ	血圧上昇

特に気をつけたい

お酒 (アルコール)	薬全般
---------------	-----

薬と一緒に飲酒すると

- ▶ アルコールは特に相互作用が現れることが多いため注意が必要です。  
常用している薬がある場合は医師に相談しましょう。



市販の栄養ドリンクやお酒(アルコール)にも少量のアルコールが含まれている場合があります。同時に服用する場合は避けましょう。

### 同時に飲むと

分解を妨げ合うことで薬が長時間体内に残り、強く効きすぎてしまいます。

特に糖尿病の薬や血液抗凝固剤のワルファリン、精神安定剤などの作用が長引きます。また睡眠剤との併用は、昏睡状態に陥る危険性もあります。

### 慢性的な飲酒

アルコールに強くなるのと同時に薬に対する耐性も上がるため、同時に飲まなくても薬が効きにくくなります。

アルコールや薬を代謝する酵素MEOS(ミクロゾームエタノール酸化酵素系)の活性が高まるため。

1~2週間ほど飲酒をやめるとMEOSの活性は弱まります。

相互作用の現れ方には個人差があり、摂取する量などでも変わります。  
必ずしも影響があるわけではありません。

## ✖ その他

	成分名	製品名	
チーズ	イソニアジド (結核治療剤)	イスコチン ヒドラ	チーズに含まれるチラミン(昇圧物質)の代謝を阻害するため 血圧上昇、発汗、どうき
	アミトリプチリン 塩酸塩 (うつ病の治療剤)	トリプタノール アミプリン	頭痛、高血圧症状
魚 <small>まぐろ、ぶり、さば、さんま、いわし、たらこ、かつお など</small>	イソニアジド (結核治療剤)	イスコチン ヒドラ	魚に含まれるヒスチジンの代謝を阻害するため 顔面紅潮、頭痛、発疹、どうき
カレー	クロルプロパミド (糖尿病治療剤)	アベマイド	胃腸障害、発疹、低血糖
炭火焼肉	テオフィリン (気管支拡張剤)	テオドール テオロング	薬効が弱まる
山椒	パンクレアチン (消化酵素剤)	パンクレアチン	薬効が弱まる
化学調味料 (グルタミン酸)	フェニトイン (抗てんかん薬)	アレビアチン ヒダントール	中毒症状 ▶ 全身倦怠、どうき
チョコレート	テオフィリン (気管支拡張剤)	テオドール テオロング	吐き気、不眠など

※「医薬品」は安全性と有効性が認められており、本来は安心して使用できますが、使い方を間違えると危険なものに変わる場合があります。重い副作用を引き起こす事もあります。用法と用量を守って正しく服用しましょう。

